

4-2 まちづくりメニューの取り組み主体と性格

- 取り組む内容・性質：ハード、ソフト
- 取り組む主体：地元（住民・企業）、行政

■まちづくりのメニューの検討（石内全体または幾つかの地区など）

区 分		取り組みの性格	
		（主として）ハード…モノづくり	（主として）ソフト…活動
主体（行う人や組織）の想定	住民企業	◎緊急課題への対応（盆踊りの櫓）	◎公共事業・公共工事への対応 ◎研修会・講演会の開催 ◎石内まちづくりの基本構想づくり ◎湯戸・下沖の土地区画整理事業の取り組み支援 ◎広報活動の充実 ◎清掃・美化活動 ◎自主防災会の強化（訓練） ◎神原のシダレザクラの活用（絵の展示） ○伝統行事の継承・復活 ○石内地域誌の編さん ○まちづくりホームページの作成
	連携	◎新藤兼人記念館建設計画の検討 ◎石内地区情報システム（ふれあいチャンネル）整備の検討 ○石内の特産品づくり ○水車の記録、標識、展示や復元の検討 など	
	共同協働又はどちらか	◎河川の浄化、生活雑排水対策 ○行政との連絡・調整、協働のまちづくり推進 ○絵や写真コンテストの開催 など	
	連携	◎ホタルの里づくり ◎文化財の保存・整備、表示・案内板の整備 ◎梶毛ダム管理事務所周辺環境整備 ○通学路の安全確保（歩道の整備、安全を守る体制など） ○桜並木づくり（石内川沿いなど） ○旧山陽道（かげともの道の活用） ○石内・散策ルート（石内周遊プロムナード）づくり ○登山道の整備、山めぐり（自然探勝）コースづくり ○自然体験の森づくり ○総合公園の整備要望と具体化 ○生き物のすむ環境づくり（川、森…）と自然観察の場の確保・整備と活用 ○石内十景（百景）づくり など	
		○街灯・防犯灯の設置（ホタルに配慮）	○ゴミの不法投棄、ポイ捨てへの対応
		◎外環状線と福祉センター進入路接続工事 ◎福祉センター標識設置工事 ◎臼山八幡前県道側溝の排水工事、県道の拡幅工事 ○県道の歩道等の整備 ○下水道の整備 ○河川の整備、浚渫（しゅんせつ）など	○まちづくり活動の支援 ○西風新都の実施計画の見直し など
		行政（要望することなど）	

＜まちづくりを進めるヒント(メモ)＞

1 地区などで共有できる、現実感のあるきっかけ、または課題・テーマが大切

- 例えば、歩道がない、街灯の不足、河川の汚れ、ホテルの里づくり、サクラの名所づくり など

2 テーマやメニューの絞り込み、優先順位づけ、それに取り組むチーム等の編成が大切

- まずは、テーマを絞り込み(優先順位づけ)、それを中心になって取り組むチームなどの編成が大切。

3 組織的に動ける体制、各組織のネットワークが大切

- まちづくり協議会、町内会、社協、子ども会など、組織間のネットワークを築き、何かの時、組織的に動ける体制を整えておくことが大切。

4 まちづくりを楽しむ雰囲気と活動が大切

- まちづくりを楽しめる活動内容を考えることが大切。
- 時には、“なべ談義”などを地区で開催することもある。

5 情報を伝え受け取る仕組みと情報の共有化が大切

- 定期的な「まちづくりだより」などの発行。編集や発行の支援なども大切。
- これからはホームページも必要。その管理や更新を担当する人の確保や支援体制づくりも大切。
- 気軽に連絡できる場があれば…。

6 まちづくりのルールを共有することが大切

- みんなで進めるまちづくりの共通認識を持ち、活動を進めることが大切。
例えば、
 - ①一步一步、焦らず着実に：3(2)歩進んで2(3)歩下がることも。
 - ②タイミングを大切に：具体化に向けて効果的な時期を考えよう。
 - ③持続が未来を開く：まちづくりは終わりのない営み。整備後は運営や活用。子どもたちへの継承も。
 - ④みんなが同等の立場で：開かれた組織。情報の提供と共有化。危機感・不安や夢の共有化。
 - ⑤みんなで楽しく：困難も推進力にするプラス思考で。まちづくりを楽しもう。
 - ⑥専門的技術・情報・知識を取り入れる：人的ネットワークづくり。広島市や専門家の支援。勉強会など。
 - ⑦実践・体験を重視：実践・体験から学び、発展させる。ワークショップなど。
 - ⑧プロセスの重視：まちづくりの過程や区切りでの評価・反省を行い、それを活動に生かす。

7 実践的な活動が大切

- 小さくとも、みんなに認知される活動が大切。形となることによって、みんなに知られることも。
- ある地区では、都市計画道路の事業用地を借りて、町内会で花づくり(フラワーパーク)が行われています。
- 完ぺきでなくとも一つの成果が、活動の持続や次の取り組みの推進力にもなります。

8 意見の違いを次のステップにすることが大切

- 異なる意見が出されることは、まちづくりの前提。大切なのは、意見を自由に言えること。
- たとえ一つにまとまらなくても、話し合いを重ねたことは、まちづくりの財産であり、次への土台となるのでは。

9 参加・協働が大切

- 住民等の力の結集が、まちづくりの原動力。
- 住民と行政、さらにはNPOなどとの連携や協働が大切。

■まちづくりのメニューの検討（半坂・原田・平岩）

＜半坂・原田・平岩の特色・魅力づくり、及び課題解決の方針＞

石内の源流域としての美しい環境
づくり(花とホテルとメダカ)

交通環境の改善と
公共交通の利便性の向上

ふれあいと交流を
大切にするまちづくり



区 分		取り組みの性格	
		(主として) ハード…モノづくり	(主として) ソフト…活動
主体（行う人や組織）の想定	住 民 企 業		○カキを生かす(カキもぎなどのイベント)
	連携	○名水の活用 ○メダカの里づくり ○水車の復元・活用	
	共同協働 又は どちらか	○合併浄化槽の設置	○石内川、梶毛川、半坂川等の浄化 ○石内川の浄化、生活雑排水対策
	行政 (要望することなど)	○ホテルの里づくり(ホテルの名所スポットづくり) ○病院の建設促進 ○旧山陽道(かげともの道)などの歴史的資源の保存・活用 ○桜並木づくり、花とホテルとメダカの里(駐車場等の整備) ○石内・散策ルート(石内周遊プロムナード)づくり ○登山道の整備、山めぐり(自然探勝)コースづくり ○河川に石や砂、溜まり(堰)。ショウブの生える川づくり ○生き物のすむ川づくり(3面張りでない川を生かしメダカやホテイアオイ…) ○市民菜園への休憩所と便所の整備 ○歩行者・子どもの交通安全対策 ○バス停の設置(平岩:スペース有り) ○街灯・防犯灯の設置 ●山陽道の側道整備 ●公共下水道の整備 ●信号の設置、交差点の整備(草沼道路) ●大津橋交差点信号に矢印信号の設置 ○道路の拡幅 ○道路の新設 ○ガードレールの設置 ○右折レーンの設置(五月が丘南交差点) ○横断歩道の設置 ○歩道橋設置(石内南～石内:石内バypass) ○河川公園、公園、小公園の整備 ○石内川の浚渫 ○石内川の未整備箇所の整備 ○平岩川(石内川)両岸の舗装(大津橋～和光橋) ○アストラムラインの延伸と駅の整備 ○河川改修(生き物のすむ川づくり) ○急傾斜地の整備・防災対策	○花見の場、駐車場の整備 ○公園の整備と活用・管理 ○旧道の通過交通対策(スピード制限など) ○ゴミの不法投棄、ポイ捨てへの対応 ○水質汚濁への対応、事業所の排水対策 ○時間指定の一方通行の検討 ○交差点における一方向規制(出る専用) ○交番を派出所に

注：●は重点(優先)事業

■半坂・原田・平岩のまちづくり構想図



■まちづくりのメニューの検討（神原・中講・下講・上中・下中）

＜神原・中講・下講・上中・下中の特色・魅力づくり、及び課題解決の方針＞

花と緑と川(水辺)が織りなす
里づくり

コミュニティ中心地としての
安全・快適な環境づくり

ふれあいと交流を
大切にするまちづくり



区 分		取り組みの性格	
		(主として) ハード…モノづくり	(主として) ソフト…活動
主体（行う人や組織）の想定	住 民 企 業		○犬のフン対策（マナーの向上） ○臼山神社の、永井建子記念碑の活用 ○マツタケが育つ山
	連 携	○水車の復元・活用 ○名水の発見と活用 ◇神原のシダレザクラ周辺へのサクラの植栽	
	共同協働 又は どちらか	○合併浄化槽の設置	○石内川、梶毛川等の浄化 ○ネコヤナギの保全
	連 携	○ホテルの里づくり（河川の浄化、ホテルの幼虫の養殖、カワニナ育て、カワニナを上流へ移動など） ○水力発電の検討（石内川） ○かげともの道や城跡などの歴史的資源の保存・活用 ○城跡巡りコースの整備 ○石内周遊プロムナード（ルート）づくり ○神原・梶毛ダム周辺の魅力づくり：親水公園、周遊コース、桜、駐車場の確保など ○桜並木づくり ○神原のシダレザクラの保全と活用、通過交通対策 ○花の道づくり（神原方面への道） ○市民農園の整備 ○空き家対策 ○バス路線の整備、スクールバスとしても利用、バイパスのバスの増便 ○バス停の整備（屋根付き）	
行政（要望することなど）	連 携	○（農業用）水路の補修・整備 ○街灯・防犯灯の設置	○ゴミの不法投棄、ポイ捨てへの対応 ○通過交通の増加に伴ってごみ捨て場にならないよう対処
	行政（要望することなど）	○バス停の新設 ○下水道の整備 ○通学路などへの歩道の整備 ○外環状線とバイパスの連絡（有井池付近） ○外環状線と福祉センターの進入路の連絡 ○橋の欄干の整備 ○信号、歩道橋の設置の検討（バイパス） ○急傾斜地や土石流に対する防災対策	○梶毛ダム周辺の環境整備と活用 ○通学路の整備とルート（短いルート）の検討と安全対策 ○河川の危険区域への対応 ○通過交通対策、迂回路整備（神原等） ○交通安全対策 ○高架下への公園整備と活用・管理 ○公園・広場の整備と活用・管理 ○川底がきれいな河川に ○石内バイパス法面の定期的な草刈り

[illegible]

■まちづくりのメニューの検討（笹利・上沖・下沖）

＜笹利・上沖・下沖の特色・魅力づくり、及び課題解決の方針＞

里山と川と農を
生かしたまちづくり

名水を大切にし
生かしたまちづくり

ふれあいと交流を
大切にするまちづくり



区 分		取り組みの性格	
		（主として）ハード…モノづくり	（主として）ソフト…活動
主体（行う人や組織）の想定	住 民 企 業		○ニッキの木の保全と活用（子どもたちの体験学習など） ○特産物のあるまちづくり（フキ、キャベツ、バラ…） ○ソバづくり ○朝市 ○伝統行事の復活・活発化
	連携	○名水の周辺環境整備と活用 ○榊井手の保存・活用 ○倒木の撤去	
	共同協働 又は どちらか	○合併浄化槽の設置	○石内川、笹利川等の浄化
	行政 （要望することなど）	○（農業用）水路の補修・整備 ○街灯・防犯灯の設置	○ゴミの不法投棄、落書き、ポイ捨てへの対応 ○大型車の通行制限の検討 ○河川の汚濁防止
		○道路の危険箇所の改良 ○外環状線の整備 ○藤木団地からの道路整備（合併条件） ○通学路（県道等）の歩道整備 ○狭あい道路の整備（拡幅等） ○急傾斜地の整備・安全対策 ○防音壁の整備（山陽自動車道） ○笹利川：生き物がすみやすい環境整備、土砂の浚渫、川に降りる階段設置 ○高架下（山陽自動車道）への公園・広場整備 ○総合公園の整備（促進）	○農業の振興

■笹利・上沖・下沖のまちづくり構想図



■まちづくりのメニューの検討（湯戸）

＜湯戸の特色・魅力づくり、及び課題解決の方針＞

自然と歴史文化を
生かしたまちづくり

石内や西風新都の利便性や
活力を高める拠点づくり

ふれあいと交流を
大切にするまちづくり



区 分		取り組みの性格	
		（主として）ハード…モノづくり	（主として）ソフト…活動
主体（行う人や組織）の想定	住 民 企 業		○獅子舞の復活 ○イヌの糞の処理（マナー）
	連携	○モチヅキ桜の保全・活用（周辺環境の整備） ○教徳寺観音さん（建物補修、祭礼充実） ○除草、環境美化	
	共同協働又はどちらか	○合併浄化槽の設置 ○湯戸・下沖地区の土地 区画整理事業の推進 ↓ ○商業・生活拠点づくり （石内南生活拠点） ○石内川、西法寺川、 笹利川等の浄化 ○モリアオガエルが すみやすい環境づ くり	
	行政（要望することなど）	○街灯・防犯灯の設置 （ホタルに配慮） ○湯戸～河内、湯戸～山田の道路整備 ○道路の拡幅、生活道路の整備 ○歩道の整備 ○ガードレールの設置 ○橋の新設 ○新たな道路計画（三和橋方面） ○林道の整備 ○下水道の整備 ○土石流対策 ○西法寺川等の浚渫 ○川におりる階段整備	○ホタルの里づくり ○かげともの道や百石、榊井手などの歴史的資源の保存・活用 ○花見の場の確保・整備 ○桜並木づくり ○生き物のすむ川づくり ○新藤兼人の生誕地（碑の設置など） ○通学路の整備と安全確保（歩道、安全確保の体制等） ○バス路線の充実 ○ゴミの不法投棄、ポイ捨てへの対応 ○速度規制等の実施と徹底 ○土地利用規制の見直し

■湯戸のまちづくり構想図

道はお互い土地を
50cmぐらい出して
何とかしなければ
できない。

街灯。防犯灯を整
備しよう。今は暗
くてあぶない。

カワニナがすむ
川にしよう。

イノシシが出るようになった。

「獅子舞」の保存

湯戸～河内。湯戸
～山田の道路整備



